中國新聞
発行所
中國新聞社
広島市土橋町7番1号
（郵便番号 733）
電話広島91局1111番（大代表）
郵便振替口座 広島57番
© 中國新聞社 1970

8月6日の意味

戦略より外交

社説

「安らかに眠って下さい　過ちは繰返しませぬから」の碑文で有名な広島市平和公園の原爆慰霊碑が除幕されたのは、昭和二十七年八月六日であった。この碑の前に立つ人々は、その後「過ち」の繰り返されない世界を見てきただろうか。また、みずから「過ち」を繰り返さぬ決意を持ち続け、他人にもその決意を伝えただろうか。

それとも、この碑文にいう「過ち」とは連合国側が日本の戦争指導者らを断罪した「平和に対する罪」とか人類の戦争責任全体を意味するものでなく、原爆の投下責任だけだ、と日本人の卑屈さに腹を立てて帰るのであろうか。

この碑文のつくられた一九五二年は対日平和条約と日米安保条約が発効して（四月二十八日）、日本が被占領状態から曲がりなりにも脱皮しはじめた年でありまた日本が朝鮮戦争の軍事補給的基地として重要な役割りを背負っていた時期である。休戦会談はその前年十月から板門店で再開されたが、戦闘はむしろ激化しながら膠（こう）着状態に陥っていた。米軍が北朝鮮と中国東北部に細菌兵器を使用したとの報道、イギリスの第一回原爆実験、巨済島の北朝鮮捕虜の反乱事件、米空軍による北朝鮮の水豊ダムの爆撃など戦争の「過ち」を拡大するニュースが続いていた。

「眠らないで墓から立ちあがって叫んで下さい。過ちがくり返されそうです」と碑文を書き換えるべきだ、との論が同年秋、日本の革新系の学者の間から出たこともある。朝鮮戦争に国連軍の総司令官であったマッカーサー元帥は中国の朝鮮ぞい国境地帯に放射能コバルト散布による「死の灰」の地獄地帯をつくり、中・朝間を遮（しゃ）断したうえで北朝鮮に原爆を使用する戦略を米国の統幕方面へ具申したが、戦術上の賛否両論が分かれて実現をみずにすんだことが後年になって発表されている。似たような核兵器使用と威圧の危機はスエズをめぐる英・仏・ソ三国間の勢力争い、キューバを核基地化しようとしたソ連と米国間の全面核戦争への臨戦態勢、ベトナム戦争の泥沼化にいらだった米国の核使用検討、また昨年の中ソ国境紛争と中国奥地の核戦略地帯をめぐる中ソ両国間の核緊張など、数多く生じている。さらにスペイン沖への米水爆落下、北極海での米水爆機墜落事故、あるいは深海の原子力潜水艦の破滅事故など、核戦力の臨戦態勢と開発にともなう恐るべき事故も跡を断たない。

しかし、一般民衆は国際核情報を特別に勉強することに日々の生活時間を費やしているわけでない。自分たちの平和な生活を守るためには軍事力や核戦力を暴走させないことを心底から願う。世界の政治家がいわゆるシビリアン・コントロール（文民による統制）の民主政治的原則を強く生かして、戦略よりも外交で、軍事力よりも政治力によって国際対立を解決する姿勢が世界の大勢となることを望むばかりである。

原爆許すまじ

この世に戦車や大砲やナパーム爆弾や核兵器で殺さなければならぬほどの大悪人はいない。このような軍事力がねらう相手は個人ではなく、相手国の国家権力、あるいは相手の集団的な「敵意」である。一国の政治勢力を打倒するために犠牲になるのは常に人民大衆である。その大衆の一部は強制的に戦野に駆り立てられて国家権力のタテ（盾）ともなりホコ（矛）ともなる。

過去の「大日本帝国」においては、選挙権は二十五歳以上の一定所得ある壮年男子に限られ、二十五歳以下の男子が直接に国政に参加する道としては「戦闘」という青春の生死をかけた殺人行為の体系に組みこまれる一本の道が、その熱血のはけ口のように開かれていた。社会全体をきびしく権力的に統制して、その抑圧の下の政治参加を「敵国」を前にした「富国強兵」「忠君愛国」の軍事的な訓練と行動の方向へたばね上げる。それは青年男子の気力、体力をじゅうぶんに消耗（もう）させるゲバルト（暴力）活動でもあった。そういう形で当時の社会の青年層の戦闘的な活力は「国政」へ吸収された。大学の一部の体育グループのシゴキ事件にみられるような古年兵による新兵へのシゴキ。これは年齢階梯（てい）式に戦闘という殺人行為にたえうる殺気や非人間的な残忍さを年長者から若年層へ次次とリレーさせてゆく。

現代の戦争は、しだいに戦闘員が主役でなく、非戦闘員が主役になりはじめた。旧日本軍は本土決戦にそなえてトラの子の戦闘機や「特攻」つまり自爆兵器を温存するに努めその間、制空権を米軍に支配された本土の主要都市は、ほとんどすべて空襲で焼き払われた。本土空襲で戦場化した都市の「戦闘」被害の主役は軍人ではなく、一般市民であった。むしろ職業軍人などは「最後の戦力」として被害を避ける条件下にあり、一般市民の被害は軽視される傾向が強かった。広島への原爆投下で死んだ軍人軍属は一万人内外と見積もられ、一般市民はその十倍以上、少なくとも十数万人が殺されている。

「一九四五年八月六日、九日、広島と長崎の空に、天を裂く閃（せん）光がはしった。数十万人の生命は地上から消えた。生き残った被爆者は、放射能の病苦と、貧困と差別と、政治の無視に耐え、ひたすらに戦後の日本を生きた。その日の記憶をいずみのように鮮烈に抱き、再び核戦争のおきぬことを願い、その苦難がやがて大地に芽ぶく一粒の麦たらんことを信じて」―この碑文は東京都の原爆被害者団体協議会（東友会）が昭和四十二年八月十三日、東京都北品川の東海寺に建てた「原爆犠牲者慰霊碑」のことばである。

広島の原爆慰霊碑文は、生者が死者へ呼びかける形をとっている。この東海寺碑文も後半の「その日の記憶をいずみのように……一粒の麦たらんことを信じて」は生者の誓いのことばである。ところが東海寺碑文は、碑の中央から両翼に碑文を二つ張り出した形をとり、その片方には注目すべき次の短い碑文が刻まれている―

「われら生命もてここに証す
　原爆許すまじ」

この碑文は死者が生者へ呼びかける形であり、一種の「垂訓」である。生者が「過ちは繰返しませぬから」と死者へ語りかける「誓詞」とは当然両立できる。

広島・長崎を襲った二十五年前の原子爆弾は、非戦闘員をその場でむだ死にさせただけでなく、日米親善の今日、その握手をきびしくたたきおとすほど、平時まで延長されたむだ死にをつくっている。さらに人知未踏の無責任な放射能後障害により、多くの被爆者に医療上の救援を遅らせて、もだえ死にさせた。また、この原爆が直接の戦争終結目的でなく、米ソ対立上、米国の政治発言を強めるためのむだ死にだとする見方もある。

非戦闘員の平時まで及ぶ治療法不明の、無責任な政治的過剰殺人。これを生者みずから悩み、反省せずして「人類の進歩と調和」の明るい未来がくるであろうか。

特級清酒
一勝
イッショウ

きょう原爆25周年

祈りの一日に

原爆記念日。広島市では六日、平和記念公園の原爆慰霊碑前で被爆二十五周年原爆死没者慰霊式と平和祈念式をあげる。また、この式典後、同公園内の市公会堂で原爆記録映画「ヒロシマ・原爆の記録」の一般公開記念試写会を終日催し、被爆当時の惨禍と終わりない被爆者の放射能後障害などの実態を訴え"ヒロシマを繰り返すな"と呼びかける。このほか、市内では原水禁二団体の広島大会や若い世代の反戦集会などが引き続き開かれ、純粋な祈りと平和への新たな誓いの一日となる。

広島市主催の式典は午前八時に始まり、山田市長、永野広島県知事をはじめ佐藤首相代理の内田常雄厚相、衆、参両院議長（ともに代理）のほか原爆犠牲者の遺族、被爆者、原水禁大会の参加者や外国代表、それに一般市民ら四、五万人が参列する見込みである。

市立基町高校、観音、宇品両中学校吹奏楽団百人が荘重な「慰霊の曲」を吹奏する中で開式。市長はことし新たに書き加えられた原爆死没者名簿（過去帳）を慰霊碑に奉納する。名簿を奉呈するのは、遺族代表の市内宇品東三丁目、会社員鈴川利明さん(二七)と同皆実町三丁目、無職住谷真砂さん(六五)の二人。

浅尾市議会議長が式辞を述べ献花に移る。静かな「礼拝の曲」が始まり、市長、市議会議長、被爆者代表の任都栗司市原爆被爆者協議会長、遺族代表の市内宇品御幸三丁目、公務員野田里司さん(三四)と同山根町、電話交換手吉見和子さん(三三)内田厚相（首相代理）荒船清十郎衆院副議長（衆院議長代理）安井謙参院副議長（参院議長代理）永野広島県知事、桧山同県議会議長の順で花輪をささげる。

このあと、広島市立神崎小五年、荻野晃代ちゃん(一〇)＝市内舟入幸町＝ら市民代表五十人が菊花六輪ずつを手に"流れ献花"をする。この中には朝鮮人被爆者である李妙妍さん(五四)＝同江波二本松一丁目＝と金命今さん(五八)＝同都町＝も加わる。

原爆投下と同じ時刻の八時十五分。参列者一同は原爆死没者のめい福と世界の平和を祈って一分間の黙とう。遺族代表の野田さんと吉見さんが「平和の鐘」を打ち鳴らす。

市長が平和宣言を読み上げ、平和のハト千五百羽が放たれる。続いて「ひろしま平和の歌」の合唱。樋口広島市立白島小校長の指揮で、本川小母親コーラスなど市内の母親、職域、高校、大学二十一団体五百人編成の大合唱団が吹奏楽にのって参列者らと一緒に歌いあげる。最後に首相、衆、参両院議長、知事、県議会議長のあいさつがあって再び「礼拝の曲」の流れる中で同八時三十五分式を終わり、一般参拝に移る。

新たに過去帳へ
今年も3,606人

ことし過去帳に記入された原爆死没者数は男千七百十二人、女千八百九十二人、性別不詳二人、計三千六百六人。これで慰霊碑への奉納数は男四万五百九人、女三万五千七百七十二人、性別不詳六十人、あわせて七万六千三百四十一人に達する。

新たな名簿記載者には、この一年間に死んだ被爆者千百九十六人をはじめ二十年八月六日になくなった千二百二十八人などが含まれている。

また、この中には被爆当日に死んだ外人二人の名もある。爆心近い市内基町の旧陸軍第五師団捕虜収容所にいた米人ジョン・アランロングさん(二七)と、爆心から約一・五キロの旧上柳町（今の橋本町）でパン屋を営んでいたというロシア人ポール・ボルセンスキーさん（六十歳ぐらい）の二人で、肉親や、かつての家主さんが届け出た。広島市原対課の話では、外人の過去帳記載者としてはこれまでも米人捕虜一人と中国人捕虜数人のほか朝鮮人も四、五百人いるという。

この日は、会場だけでなく、広島市内をはじめ各地で原爆犠牲者の霊を弔う行事があり、静かな祈りと追憶にひたる家庭も多い。広島県・市は県、市民に対して午前八時十五分にはどこにいても黙とうを―と呼びかけており、市内の寺院、市役所、消防署など四十カ所以上で一斉にサイレンや鐘を鳴らすことにしている。

広島市公会堂で開かれる原爆映画の一般公開は、市や地元報道機関、市民らでつくる原爆映画制作委員会が主催し、午前九時、十時半、十一時半、午後一時、二時、三時の計六回にわたり上映する。また、地元民放社は午前九時半からテレビを通じて全国放映する。

全米へ初の宇宙中継
平和祈念式などカラーで

中国放送（広島市基町）が六日午前八時から原爆の日特別番組として、広島市平和記念公園からテレビでカラー中継する原爆死没者慰霊平和祈念式のもようが通信衛星にのり、アメリカのテレビ局CBS系ネットで全米放送される。同式典がアメリカのテレビで放送されるのは初めてで、反響が注目される。

CBS系テレビで放送されるのは午前八時十三分から十七分までの四分間。放送時間はアメリカ時間で午後七時から七時三十分までのゴールデンアワー、アメリカきってのニュース・キャスター、クロムカイトが解説する視聴率の高い番組。

平和祈念式典のもようは中国テレビからいったん東京のTBSへ、さらに国際電電の十王無線局（茨城県）―インテルサット3号のルートでアメリカへ送られる。

全国から8,000人が参加して開かれた原水禁広島大会（広島県立体育館で）

運動再生へ結集
アピール発表　原水禁広島大会開く

原水禁国民会議（社会党・総評系）の「被爆二十五周年原水禁世界大会広島大会」は五日午後七時すぎ、広島県立体育館に外国代表六人を含む全国からの代表約八千人を集めて総会を開き「日本政府が核外交に足を踏み入れ、再び加害者になることを許さない」との"広島アピール"を発表した。

大会は、原爆犠牲者の霊に黙とうしたあと、森滝市郎代表委員が「この大会を核兵器廃絶の七〇年代とするための、新たな出発点とすることを誓い合いたい」とあいさつした。江田社会党書記長、安恒総評政治局長が「これまでの運動のあり方を率直に反省し、新しいエネルギーを持った運動再建に全力を尽くす」と決意表明した。

外国代表のあいさつ、メッセージの披露に引き続き、被爆者・沖縄の訴え、国際会議・被爆者行脚の報告がそれぞれ行なわれた。

最後に広島県安芸郡瀬野川町の主婦、池田精子さん(三七)、裏智子さん(一九)の被爆者母子が広島アピールを朗読、満場一致で採択して午後九時すぎ閉会した。広島アピールでは「日本の核武装阻止、米国のインドシナでの核兵器使用阻止、被爆体験の継承による運動の再建、核兵器・生物化学兵器絶滅、八月六日から九日までを"反原爆国際停戦デー"として共同行動を展開―などを目ざして行動を強めよう」と訴えた。

広島大会総会に先立って、この日午前から市内十二の会場で、分散会、テーマ別・階層別集会、外国代表と被爆者との懇談会が開かれた。「原子力の平和利用」を考えるテーマ別会議では「国内の原子力開発が、経済性を重視するあまり、安全性に大きな問題を残している」点が指摘された。また、八つの分散会場では、統一行動、核拡散防止条約の評価、被爆者援護法制定問題などが論議の中心になった。統一行動については「日本の核武装の危険が身近に迫っている今、可能な限り共同行動すべきだ」との意見が多く、核防条約については「日本政府の手をしばる意味で、条約批准要求の運動を積極的に展開すべきだ」の意見が大勢を占めた。また「今後原爆フィルムの上映運動を通じ、被爆の実態普及に全力をあげる」必要が強調された。原水禁国民会議の広島大会は六日、階層別・テーマ別会議、被爆者懇談会、総括集会を開き閉幕する。

内田厚相、広島入り

内田厚相は首相代理として六日開かれる広島市主催の原爆死没者慰霊式・平和祈念式に出席のため五日夜広島入りした。六日は式典出席後、記者会見し次いで原爆病院、被爆者養護ホームなどを訪れ、同日午後二時前に広島空港から帰京の予定。

近く発生源を総点検
公害対策　労働省も規制強化へ
企業の協力しだい

労働省は大きな社会問題となっている公害問題について化学工場、鉱業所など公害の発生源である事業場段階での規制強化を図る積極方針を五日決め、近く労働基準監督署に通達する。

同省が発表した公害防止対策の骨子は①有害物質の排出、用後処理の規制によって大気汚染と水質汚濁の防止を図る②騒音、振動、悪臭を含めた幅の広い労働災害防止についての研究を積極的に推進し、公害防止に役立てる③従来結核防止に重点がおかれていた労働者の健康診断に、新しい診断項目を加え、公害指定地域の工場労働者の健康を保持する④九月にも、有害物質使用事業場の総点検をする。このため労働基準監督官の増員とコンピューターを導入する―の四項目をあげている。

この公害防止対策の重点は特に①作業場のベリリウム、鉱物性粉じんなど特定有害物質を除去する②有害物質の漏えい、大量排出防止のための生産設備についての規制基準の整備と監督指導を強化する③一酸化炭素の発生源であるボイラーの規制を強化する④有害物質の排水規制対象にシアン、クロムを含める⑤四アルキル鉛のほか残さい物廃棄処理の規制対象を拡大する―などで、これによって大気汚染と水質の汚濁を防止することになっている。

労働省はこの対策を推進するためには全国に六万カ所ある有害物質使用事業場の実情掌握が必要であるとし、全国の基準監督署を動員して総点検を実施し、未知の毒性物質については労働衛生研究所で試験調査をする。

しかしこの公害防止対策は、現行の労働安全衛生規則の範囲内で実施されるもので、企業側が各監督署の"公害企業"に対する工場施設の改善勧告に、どの程度協力するかが問題で、企業側の協力が得られなければその実効はきわめて少ないものとなろう。

公害防止対策の内容次の通り。

【有害物質の排出、用後処理等に関する規制】一、特定有害物質の除じん　作業現場で作業中に放出される鉛は、毒性が激しいことから、すでに除じんについて規制し、監督指導しているが、さらにベリリウム、鉱物性粉じん等についても規制の対象を拡大する。

一、有害物質の漏えい、大量排出を防止するための生産設備の規制　生産過程で有害物質が漏えいしたり、設備の事故により大量に排出されると、労働者、付近住民に多大の被害を与える恐れがあるため、化学工業を対象に生産設備に対する監督指導を強化し、その規制基準を整備する。

一、ボイラーの規制　煙突から排出されるすす、一酸化炭素等のおもな発生源はボイラーだが、その構造、燃焼方法等の改善によって排出物を減少させるため、ボイラーの構造、燃焼管理等についての規制、指導をさらに強化する。

一、有害物質の排水についての排水処理規制　ベンジンなどについて排出処理方法をすでに規制し、監督指導しているが、さらにシアン、クロム等の有害物質についても規制の対象を拡大する。

一、残さい物の処理規制　有害物質を含む残さい物の処理を誤ると、労働者、付近の住民に多大の被害を与える恐れがあるため、すでに四アルキル鉛については廃棄処理を規制しているが、さらにその対象を特定有害物質について拡大することを検討する。

【労災防止の基本的研究】一、公害対策基本法に明示されている大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、地盤沈下、悪臭の六種類のうち騒音、振動、悪臭対策は測定方法など基本的研究が確立していないため遅れている。

一、このため職場環境の改善を図るほか、原因排除のため労働衛生研究所を中心に研究を積極的に進める。

【健康診断内容の改善】一、公害指定地域の事業場労働者の健康診断については診断項目を改善する。

一、この診断で発見された病気の治療は、労災病院の内容を整備充実し、その活用を図る。

【有害物質使用事業場の総点検】一、有害物質使用の実情掌握の徹底を期し、施策を体系的に樹立するため、定期的に総点検を実施する。

一、未知の毒性物質については、労働衛生研究所を中心に試験調査する。

再建懇の動きは遺憾
社党　勝間田派が申し入れ

社会党の勝間田派（政策研究会）は五日、衆院第二議員会館で幹部会を開き、山本幸一氏ら再建懇談会の有志議員と民社党の春日一幸氏らの接触など、最近の同懇談会のあり方について協議した。この結果、民社党との接触は「再建懇結成の本来の目的を逸脱したもので、きわめて遺憾である」との結論に達し、早急に同懇談会の山中吾郎代表世話人を通じ、各派に①「党再建」という再建懇本来の姿に帰る②党の統一と団結をあくまで守る―ことを申し入れることになった。

同派は山本氏らがこの申し入れに沿わない場合は「再建懇にとどまるかどうかの態度を検討する」としており、春の再建党大会を機に"反佐々木連合"として生まれた同懇談会は、微妙な立場に追い込まれることになった。

同日の幹部会には勝間田清一、石橋政嗣、柳田秀一、横山利秋、堀昌雄、八木昇氏ら同派の幹部十人が出席したが、勝間田氏以下はほぼ全員が①山本氏らの行動は再建懇本来の目的を逸脱しており、このままでは党分裂の恐れがある②労働戦線統一のような問題は、本来党がその具体策を決定して労組側に持ち込むようなものではない―との点で意見が一致した。

事務局長は大木氏有力
あす総評人事世話人会

堀井議長、岩井事務局長の辞意表明に伴う総評首脳人事問題は、大会を九日に控え大詰めの段階を迎えた。役員選考を進めている総評社会党員協議会・単産委員長会議の世話人は、七日初会合を開くが、両ポストをめぐる幹部間の意見対立が激化しているところから、人事問題は大会に持ち込まれる公算も出ている。

七日の会合は、社会党員協議会の世話人である宮之原日教組、原口全鉱、宝樹全逓の三委員長に堀井議長、岩井事務局長が加わり、意見を交換するもので、宮之原氏は出来ればここで原案をまとめたいとしている。

しかし、事務局長には大木総評総務企画局長（全電通）でほぼ一致しているが、議長では堀井、宝樹両氏が原口氏を推しているのに対し、岩井氏は兼田全港湾委員長（総評副議長）を推しており、調整がついていない。

お中元に西條酒
西條酒造王國
最上の酒　西條の酒　西條酒造組合

たくさんのご応募
ありがとうございました
応募総数 1,503,964通
厳正な抽せんの結果、22万名さまの当選が決定いたしました。なにぶんにも150万を越えるご応募をいただいたため、ご期待に添えなかった方々に深くお詫びいたします。
★キユーピー賞　20,000名様
東京都　村山　陽子様 他
★フレッシュ賞　200,000名様
福岡県　山下貴美子様 他
この他の当選者は賞品の発送をもって代えさせて頂きます
キユーピーマヨネーズ

天風録

午前八時十五分。黙とうをしよう。心をこめて―。二十五年の長い歳月を回想し、あのときの惨禍に思いを寄せる人もあろう。また、"ヒロシマ・ナガサキの戦後は終わっていない"ということから、平和への決意を新たにする人もあるにちがいない。被爆体験こそが、戦後日本の平和運動の起点だったとすれば、この原点を風化させてはならない。核戦争を阻止し、人類が平和のうちに繁栄することを願う"平和運動の地下水"が、年とともに地上にあふれ出ることを信じたい▲戦争は人間の心の中に発生し、人間が生みおとす最大の悪である。国際政治を動かす力の論理が、やむをえぬ戦争という名において、多くの人間の生命をうばってきた。たとえば、アフリカのビアフラの悲劇。あの背後には大国の対立と、かげの激突があった▲ベトナム、カンボジア、中東の戦争をあやつっているのも、大国である。すべての場合に、現住民同士が殺し合い、ドロ沼の果てしない戦争につきおとされる。しかし幸いにも、まだ第三の核攻撃は現われない。朝鮮戦争、台湾海峡の緊張、キューバの危機、ベトナム戦争―と、二十五年の戦後史には何回かの赤信号があった。ヒロシマ・ナガサキが、第三の核攻撃を阻止したのであろうか▲ヒロシマ型原爆の二千五百倍の威力。これがいまの水爆の威力だという。たしかに、ヒロシマ・ナガサキの阻止力は決定的だったし、これからも、この原体験を忘れる人はいないだろう。とはいえ、政治には魔性の一面がある。政治の暴走がこわいのだ▲きめ手はある。核戦争をどこまでも阻止しようとする声が高まり、その声が全人類の団結を呼び、平和運動が一本の流れに大きくまとまってくるときである。派閥抗争でバラバラな平和運動――そうした分裂主義や、指導権争いに熱中していると、かんじんな庶民大衆の心に、風化への傾斜がうまれがち▲初心に帰ろう。ヒロシマの初心がすべての国のすべての人々の胸によみがえるよう祈念したい。政治の魔性を打ち破るために。

本日16ページ
2・3面　原爆特集

D
10月生募集
日本デザイナー学院
■グラフィックデザインコース
教授　岡　秀行（東京商業美術家協会委員長）
教授　川村雅美（みづま工房常務）
■リビングデザインコース
教授　野口寿郎（小田急ハルク取締役顧問）
教授　竹田三雄（広島総合デザイナー協会々長）
教授　朝枝春介（日本店舗設計家協会理事）
■ファッションデザインコース
教授　ジョージ岡（ジョージ岡研究所長）
■イラストレーションコース
教授　板橋義夫（前日宣美中央委員）
■レタリングコース
教授　岡　秀行（オカスタジオ代表）
担任教授　川村雅美（みづま工房常務）
■コピーコース（46年度より設置）
学院長　上野壮夫
顧問教授　山名文夫
1部（2年制）2部（1年制）男女共学　学則〒共250円
〒730 広島市三川町9－3　TEL（43）1251（代表）

「ワニ」のマークの　ベストセラー・シリーズ
Best sellers
言語心理研究家
永石彊勇（つよお）
文字のパズル
遊びながら…漢字に強くなる
【¥360】
話題の最新刊
遊びと笑いと謎で、バテた頭脳はフル回転。最新言語心理学が生んだ奇抜なパズル42問。創造性をつける問題、観察力を養う問題……など、楽しみながら漢字コンプレックスが解消！発売たちまち評判
KKベストセラーズ　東京・千代田 神保町2-10
ワニのマークのベストセラー・シリーズ
神経科医の相談室　金子嗣郎　¥300
性の本　とくに18才未満の方に　奈良林祥　¥340
人間テスト　浅野八郎　¥320
アッ!?心理試験　浅野八郎　¥290
探偵ゲーム　藤原宰太郎　¥320
ベストセラー・シリーズ【¥350】
家庭における
危ない医学常識
●とり返しがつかない前に
医学博士　岡　惺治（せいじ）
発売4週15万部突破！
●読売新聞も紹介
情報はんらんの時代に医学、衛生の知識もぐんと高まっているが、逆に日常茶飯事のことについて、どれだけ正しい知識をもつかといわれると、きわめて疑わしい。……ふだんから何となくわかったようで、よく知らないことについて、この本は答えてくれる。（7・16）
●二児のママは……
ほんとうにありがとうございました。二人も子どもがいますとどちらかが熱を出したり、おなかをこわしたり。また主人が胃腸が弱いので、いつも胃痛が心配で…。この本を読んで、私はまずショックをうけ、次に健康への自信をもちました。（東京・杉並）吉田百合子さん
これほどショッキングな本はない、と大反響！